

あさひ 剣友会だより

発行日
15.08.15
第 407 号
会員数 184 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



武道館特集号①

★信じる心があってこそ
教えの中に飛び込める。

全日本少年少女 武道錬成大会

メンバー

(監督 桑原直紹)

先鋒 青柳伸治

次鋒 小金丸あかり

中堅 梅澤萌里

副将 清水紗曇稀

大将 黒澤葵太

補欠 橋本蔵人



〔レポート〕 黒澤 (母)

対戦相手の上田市剣道スポーツ少年団中央分団Aは優良賞でした。今年も去年同様強豪チーム相手にひるむことなく堂々と戦っていました。一回戦敗退という結果でしたが大健闘だったと思います。

最後の武道館

青柳 伸治

ほくの今年の武道館の結果は一回戦負けでした。昨年と同じ結果でも内容は全然ちがいました。昨年は試合で相手にせめられていましたが、今年は自分がせめていたのでよかったと思います。でも負けてしまったのはくやしかったのはくやしかったです。ほくはえんぶで二本、試合で一回だけ一本旗がかりました。昨年、来年こそは完全勝利できるようにするという目標をたてましたが、えんぶであと一本、試合で一本とどかなかったのにくやしかったです。ですが、この経験をいかしてこれからの試合で勝てるようにがんばります。



スピードと
切れのある剣
道だった！



〔試合結果〕一回戦

武蔵台剣友会 対 上田市剣道

スポーツ少年団中央分団A(長野)

〔基本〕

〔試合〕

先鋒	青柳	2 対 1	勝
次鋒	小金丸	0 対 3	負
中堅	梅澤	1 対 2	負
副将	清水	1 対 2	負
大将	黒澤	1 対 2	負
			負け(×)
			引き分け
			負け(×)
			負け(×)

おとし台 剣友会だより

発行日
15.08.15
第 407 号
会員数 184 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



武道館特集号②

★信じる心があってこそ
教えの中に飛び込める。

武道館を終えて

今年は、二度目の武道館に出場させていただきました。今年は、桑原先輩が監督を勤め、メンバーは去年のBチームの五人と補欠で五年生の橋本君の六人でとても辛い稽古を約三ヶ月頑張ってきました。本番（七月二十五日）では、それぞれの思いを胸に戦いましたが、負けてしまいました。武道館での試合は、約三ヶ月という稽古の期間から比べると一瞬と思える程あっという間でしたが、稽古での修得したことを全て出し切れたと思います。

最後になりましたが、武道館稽古に関わってくださった先生方、先輩方ありがとうございました。又、今後とも指導の程よろしく願います。

小金丸 あかり

武道館での思いをこれからに生かそう



二回目の武道館

梅澤 萌里

今年の武道館は、去年と同じメンバーに補欠が加わり六人で武道館稽古に励んできました。

本番では、長野県上田市スポーツ少年団と対戦し負けてしまった結果は去年と同だったけれど、試合の中身は去年より良くなっていたので良かったです。でも、一番多く感じたことは、惜しかっただけにすごく悔しかったことです。演武では、旗が二対一に分かれることが多く、負けてしまったのが悔しかったです。

このチームは仲が良かったので、チームワークが良くて当日もみんなで力を合わせて頑張れました。応援いただいていた方がたくさんいました。今後ともご指導よろしく願います。

二回目の武道館

清水 紗憂稀

私は武道館に二回出場しました。一回目は去年の五年生の時です。私は副将でした。演武で相手に三本取られてしまい、試合でも合い面で取られてしまいました。

今年は二回目の武道館で六年生でした。去年は相手に旗を三本取られてしまいましたが、今年は相手に二本、私に一本上がりました。

試合では、まけてしまったけど、自分から前へ攻めることができました。去年よりもすこしずつとても成長しているので、うれしかったです。

【桑原先生の稽古で分かった事】

苦しい、きつい時こそ、最後までやりきる。その経験をかいて普段の稽古でも、これらの事が活かされると良いと思います。



練習は裏切らない
紗憂稀は強くなった



速さ、力強さ
正確さがあ
ったぞ！



あいち 剣友会だより

発行日
15.08.15
第 407 号
会員数 184 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



武道館特集号③

★信じる心があってこそ
教える中に飛び込める。

日本武道館錬成大会を終えて

黒澤 栞太

ぼくは、二回目の武道館でした。去年は自分が思うような演武、試合ができませんでした。今年こそは、旗を上げるように五月からがんばってきました。

そして本番、武道館に着いた時からきんちようしました。演武では去年よりうまくできたと思います。試合では去年同様負けてしまいくやしかったです。最後だけぐいがなく試合ができてよかったです。

武道館をふり返って

橋本 蔵人

五月後半、いきなりほけつになったぼくは練習についていくことがやっとでした。でも練習を続けていくうちに、やっとついていけるようになりました。はん能日高剣道祭では練習の成かをはつきし、ゆうしゅう賞を取ることができました。武道館ではあまり活躍できなかったけれど、来年もあるのでがんばりたいです。

来年は
まかせたぞ



全日本少年少女錬成大会を終えて

小金丸 志穂子

対戦相手の上田市剣道スポーツ少年団・中央分団A（長野県三位）は、ブロック優勝しました。

昨年に引き続き出場させていただいた武道館でした。結果としては一回戦敗退でした。基本では旗を上げる事が出来なかった子もいましたが試合では引き分けに持ち込む子どももありました。昨年に続いて相手チームがブロック優勝するという、ある意味、何かを持っている今年の六年生チームだと思いました。

今年、桑原先輩を監督に迎え辛い稽古を頑張りました。「出場するからには勝ちにいきます。」という力強いお言葉のもと先輩がこれない時には、会長をはじめ多くの先生方、先輩方のご指導のもと稽古を重ねてまいりました。思った通りの結果はでませんでした。が昨年、今年と武道館に出場できた事は今後の人生において何かしら役に立ってくれると思います。

最後になりましたが、今年監督を努めてくださった桑原先輩、ありがとうございます。又、武道館稽古に関わってくださった先生方、先輩方ありがとうございました。

子ども達、感動をありがとう！！そして、武道館組の母達、父達、お疲れ様でした。



堂々とした
立派な大将
だった。

武蔵台剣友会だより

発行日
15.08.15
第 407 号
会員数 184 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



武蔵台剣友会
★信じる心があってこそ
教える中に飛び込める。

錬成大会を終えて

桑原 直紹

まず始めに、今回の錬成大会にあたり、私と選手達をご指導していただいた先生方、稽古環境を整え、大会当日も万全の体制をとっていただいた選手のご家族、武蔵台剣友会の皆様、そして指導者として未熟な私についてくれた選手達に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

私自身、二十八年前に選手としてこの大会に参加したことが、その後の剣道人生に大きな影響を与えてくれました。日本武道館で個人として、またチームとして勝利を挙げたことは、良い思い出ですし、大きな自信になりました。

今年の選手達にも、勝つことによって得られる思いを経験して欲しいというのが、私の一番の願いでした。四月末には選手達へ「勝つことを目標にしよう」と伝え、演武で旗を挙げ、稽古を続けていきました。稽古開始当初は慣れない内容のためか、簡単に息が上がったり、自分への厳しさが足りなかったりと、心身ともに物足りなさを感じましたが、日々稽古を続けていくうちに、動きや打ちに鋭さが出て、下を向くようなこともなくなり、心身の成長が目に見えてわかるようになりました。大会直前には、これで結果が伴わなければ監督が悪いと思えるまでに成長してくれました。

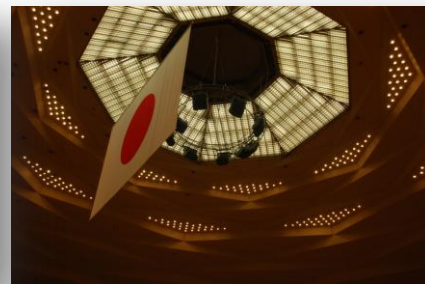
大会当日は、残念ながら「勝つ」という目標に達することはできませんでしたが、コート優勝をした強豪チーム相手に選手全員が一步も引くことなく、これまでの稽古の成果を十分に発揮してくれたと思います。

今回、選手達が経験したことが、私と同じように、今後長く続く剣道人生の良い通過点となってくれば指導者としてこれほど嬉しいことはありません。これから選手達がどのような成長していくのか、私自身も非常に楽しみにしていますし、見守り続けたいと思っています。

個人的には、監督としてこの大会に参加させていただいたことが、私の剣道人生に大きな影響を与えてくれるものと確信しています。今回、私が経験したことを他のOBにも是非経験していただきたいです。自身の成長にも繋がりますので、まずは稽古に参加し、子供達をご指導いただければと思います。

私も引き続き、子供達の指導をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。





ふぉとぎやうしー



おとし台
剣友会だより

発行日
15.08.15
第407号
会員数 184名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



武道館特集号⑤

★信じる心があってこそ
教えの中に飛び込める。